

## 市民の利便性向上

市民意見の反映

### ■ 来庁者駐車場の拡充

駐車場台数を現在の 31 台→ **74 台に拡充**  
 ※内訳／一般 65 台、身体障害者用 4 台、  
 思いやり（幅広）5 台

### ■ バリアフリー対応

エレベーター等の設置

### ■ プライバシーへの配慮

各フロアに相談室を増設

### ■ 市民ホール

待ち合わせやイベント等で利用できる  
 市民利用スペースを確保



© 1 階内観イメージ

## 防災拠点機能の確保

安心安全なまちづくり

### ■ 想定される災害への対応

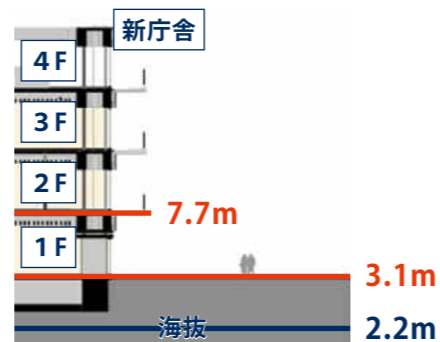
#### 想定災害

- ① 防災計画上の災害
- ② ハザードマップ等の警戒区域
  - ・ 津波想定区域 → 区域外である
  - ・ 洪水浸水想定区域 → 0.5～3.0m ※実際は最大で0.8m



#### 新庁舎での対応

- ① 嵩上げ **3.1m** まで（2階までは **7.7m**）※右図参照
- ② 地震・津波等に対応する **柱頭免震構造** を採用
- ③ 地盤改良を実施  
 ※市内中心部の地質は、砂地が多く建設場所に関わらず、  
 防災拠点としての機能確保には地盤改良が必要です。



▼ 垂水小学校前の地層でも、砂地の地質が確認されています。



# 垂水市新庁舎建設 実施設計の概要

### 新庁舎建設 実施設計の概要

垂水市新庁舎建設の実設計が今年3月に完成しました。実施設計とは、実際の建設費や工事に使用する図面などを作成したもので、建設費や図面の詳細な内容が示されます。  
 今回、住民投票の実施により、現計画の賛否が問われることとなりました。本号では、現計画の概要をご紹介します。

### 防災拠点機能

市役所庁舎は、台風や地震などの災害時において、防災の拠点としての機能を果たします。新庁舎は、嵩上げや建物の構造、地盤改良などにより、想定される災害に対応します。また、災害対策本部室や72時間停電に対応できる自家発電装置なども設置されます。

### 市民の利便性向上

新庁舎における市民の皆様への利便性については、これまでの市民ワークショップ等での意見や要望を踏まえた、駐車場やエレベーター、市民利用スペースが確保されました。